

令和6年度施策の実施状況評価結果取りまとめ（案）

資料 1

【傾向の凡例】 ↗：現時点で目標値を上回っている ↗：計画策定時より伸びている ↘：計画策定時より減少している

重点	指標項目	現状値 ※計画策定時		計画目標値 (令和7年度末)	令和6年度 実績値(見込み)	計画目標値 に対する傾向
		現状値	時点			
①	(1)高等学校等における予防啓発授業等の実施率	4校 ※府立高校における出前授業の実施数のため参考値	令和3年度末	毎年度100%	100%	↗
	(2)教員向け研修会の参加者数	Web133名	令和3年度末	毎年度100名以上	158名 (令和7年1月末時点)	↗
②	(1)依存症総合ポータルサイトのアクセス数	5,606件	令和3年度末	毎年度2万件以上	約51,000件	↗
	(2)府民セミナー・シンポジウムの参加者数	473名	令和3年度末	毎年度2,000名以上	約6,400名	↗
③	相談拠点及び「依存症ほっとライン（SNS相談）」の相談数	3,244件	令和4年度末	令和7年度末までに 1.5倍	約6,000件	↗
④	ギャンブル等依存症を診ることができる精神科医療機関数	25機関	令和3年度末	令和7年度末までに 60機関	34機関 (令和6年12月時点)	↗
⑤	相談拠点の相談者数に占める自助グループ・民間団体等への紹介率	25%	令和3年度末	令和7年度末までに 50%程度	46% (令和6年9月時点)	↗
⑥	(1)補助金を利用したギャンブル等依存症の本人及びその家族等の支援にあたる自助グループ・民間団体数	4団体	令和3年度末	令和7年度末までに 増加	8団体12事業	↗
	(2)相談拠点が実施する研修・普及啓発事業に占める、自助グループ・民間団体等と連携して取り組んだ事業の割合	33%	令和3年度末	令和7年度末までに 50%程度	45% (令和6年9月時点)	↗
⑦	ワンストップ支援を提供できる機能を整備	—	—	IR開業までに整備完了	検討会議を2回開催	—（検討継続）
⑧	ギャンブル等依存症に関する実態調査の実施回数	1回	令和3年度末	毎年度1回	毎年度1回	↗
⑨	関係機関職員専門研修により養成した相談員数	461人	令和3年度末	毎年度500人以上	約700名	↗

評価

- 令和7年度末（計画最終年度）の計画目標値達成に向け、一部の指標を除き、概ね順調に進捗していると考えられる。
- 一方で、指標④は計画目標値の半分程度にとどまっており、令和7年度末の達成に向けては、医療機関向けのギャンブル等依存症簡易介入マニュアルの活用研修を通じた普及など、引き続き依存症を診ることができる医療機関の裾野を広げる取組みを推進していく。